



未来にトライ / 前編

— 時代に打ち勝つチャレンジ企業 —

おかげさまで大分みらい信用金庫は創立100周年を迎えました。100周年を迎えるにあたり、「みらいにトライ ~笑顔をつむぐ百年金庫~」というスローガンを打ち出しましたが、これには創業の志「地域を守り続ける」を果たすため、「新たな挑戦を応援する」という思いも込められています。コロナ禍や世界情勢の動向が憂うなか、まっすぐと未来を見据えてチャレンジしているみらいしんきん同友会会員企業を、2回にわたってレポートします。

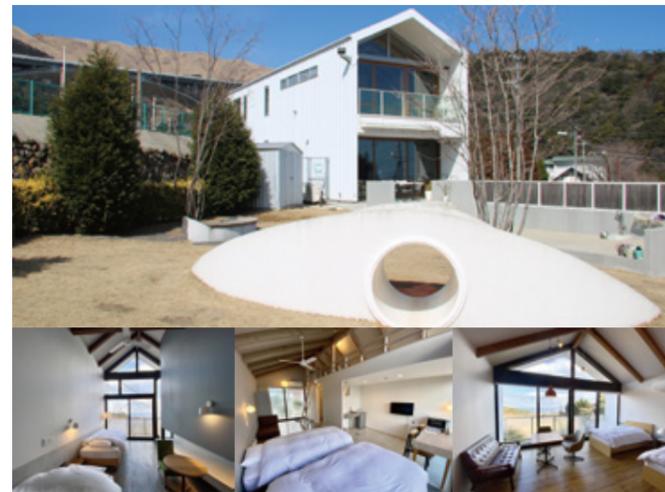


みらいにトライ
～笑顔をつむぐ百年金庫～
異業種参入にトライ

ペットと泊まれる宿 **Ugo**
代表取締役 中崎 勉 氏

有限会社 **BEPPUMARU**
【荘園支部会員企業】

別府市明礬5-2
TEL.080-8384-3150 (予約受付)
URL <https://www.ugo.land/>



潇洒な建物が映える「Ugo」。凝った意匠の部屋は左から「SORA」「KAZE」「YAMA」



個性的な外観に魅かれます

バーベキューのレンタルスペース



話題の高気圧酸素ルーム



中崎良子さんと愛犬

徹底したユーザー目線で作られた「ペットと泊まれる宿」

湯けむりたなびく明礬温泉に向かって車を走らせていると、その手前に広々としたドッグランを備えた小洒落た建物が見えてきます。この建物こそが、いま愛犬家の間で話題の宿「Ugo(ユーゴ)」です。

「もともと当社は、大分の海で釣りを楽しむ方を対象にした遊漁船「べっぶ丸」の運営を手がけています。2004年からプライベートで大型犬を飼い始めたのですが、一緒に旅行へ出かけた時に、ペットも泊まれる宿がなかなか見つからない不便さを感じていたのが開業のきっかけです」

こう話すのは、有限会社BEPPUMARUの中崎勉代表取締役。異業種参入にあたり、開業までに様々なペット対応宿を泊まり、研究を重ねてきた結果、このようなスタイリッシュな設計を施した宿になったそう。おかげで2018年の開業以来、多くの愛犬家から利用され、その評判は順次広がっています。人気の要因は、ユーザーの立場になって随所に工夫が凝らされている点にあります。宿の運営に携わる奥様の中崎良子さんは、次のように話します。

「3部屋限定の宿ですが、観光地・別府をペットと一緒に

ゆっくり楽しんでいただき、「感動」を味わっていただきたい。夕食はご提供していませんが、これは別府の料理店の味を楽しんでいただきたいという想いから。お泊まりになられた方は、自由気ままに別府を楽しんでいらっしゃるようです。最近ではペット連れでないお客さまのご利用も多く、ワーケーションとしてご利用される方もいらっしゃいます」

「SORA」「KAZE」「YAMA」と、いずれの部屋も別府湾のロケーションが楽しめる開放的な空間になっており、ミニキッチンも備えているので自炊も可能。ドッグランも愛犬家ならではの心づかいが感じられ、新しく設置したバーベキューのレンタルスペースも、これからの季節に人気を呼びそうです。

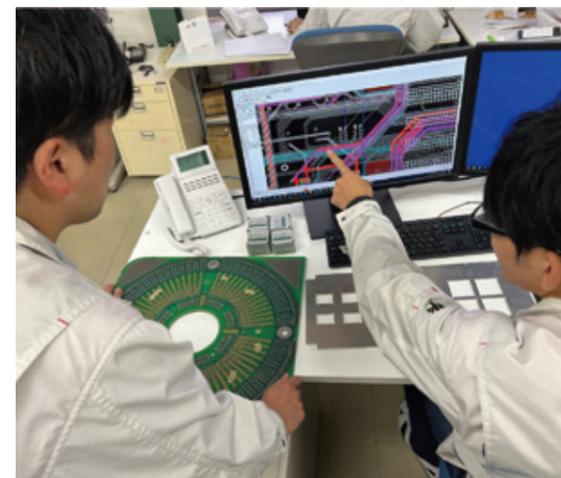
「ペットと入れる高気圧酸素ルームも好評です。疲労回復や治療力向上等が期待される設備ですが、ペットにも同様の効果があるようです。お泊まりにならなくとも利用するため、リピーターの方も増えています」(中崎良子さん)

ペットブームが加速するなか、「Ugo」ファンはまだまだ増えそうです。

みらいにトライ
～笑顔をつむぐ百年金庫～
工場新設にトライ

株式会社 **エリア**
代表取締役 樋口 嘉 氏 【上人支部会員企業】

日出町大字豊岡字岩垣799番地1
TEL.0977-73-2485
URL <https://www.elia-jp.com/>



意欲的にテストプログラム開発業務に携わるエンジニアたち



操業に向けて準備が進む新工場



信頼性の高いエリアの半導体製品



新工場で重要な役割を担うクリーンルーム



樋口 嘉 代表取締役

需要急増に応える新工場操業と人材戦略の拡充

想定外の事態が巻き起こるなか、半導体業界は依然として活況を呈しています。半導体受託生産の世界最大手・TSMCの熊本進出、CPU開発競争が激化するインテルとAMD社、社会問題化する半導体不足といった報道も後を絶ちません。今後も5Gスマホの席卷、IoT社会の実現、EV普及と自動運転技術の進展等を背景に、半導体市場は拡大の一途をたどりそうです。

県内の半導体業界を牽引する企業のひとつ、株式会社エリアは、まもなく杵築市で新工場の操業を開始します。「半導体テスト工程の需要増に対応するため、3年前から候補地を物色していました。新工場では大型クリーンルームの設置が可能になり、災害などの緊急事態発生に対するBCP対策も図れ、新たな事業展開に繋がっていきたい」

期待に胸を膨らませる樋口嘉代表取締役ですが、同社は半導体テストエンジニアリングで高い評価を獲得しており、とりわけアナログテスト分野では国内トップクラスとされています。アナログテストとは、デジタルでは処理しきれない微細な音声や電気信号等を検査するシステムで、独自のテストプログラムの開発に成功し、テスターを自社所有している

同社は稀有な存在。なかでも受注が増加傾向にある自動車用半導体は、人命にも関わるため徹底した検査が求められており、クリーンルームの増設は長年の懸案事項でした。

「新工場の操業開始で設備が充実し、生産能力の拡大は可能となりますが、それに伴う優秀な人材確保と育成も大きな課題です。TSMC進出による人材難も懸念されており、働きやすい職場環境の充実にも力を入れねばなりません」

同社は働き方改革にも積極的であり、雇用管理状況の優良企業を厚生労働大臣が認定する「ユースエール認定企業」、大分県認定の「しごと子育てサポート企業」も取得済みです。取材で訪問した時の社内の雰囲気はよく、コミュニケーションも良好な印象を受けました。

「日の丸半導体」復権の気運も高まっています。当社としても少なからず貢献できるよう、存在感を高めていきたい」

また、2019年には地域の雇用や産業活力を生み出し、大分県経済をリードする企業として「大分県地域牽引企業創出事業」の認定も受けた株式会社エリア。樋口代表自身に、挑戦への決意を語っていただきました。